

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業評価シート										平成 29 年度事後評価・決算		所管課		建設課		担当班		土木班			
事務事業名		コード	30100	南堀之内バイパス整備事業			予算科目	会計		款		項		目		事業種別	☒ 主な事業				
							一般			8		2		3			☐ 国土強靱化地域計画				
施策体系	基本施策	18		安全で快適な道路の整備			根拠法令											☒ 新市建設計画			
	施策の展開	33		主要道路の整備			戦略事業	160	南堀之内バイパスの整備										☒ 定住自立圏構想		
	施策の展開						戦略事業												☒ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 19 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		国道126号線から、(主)大栄・栗源・干潟線までを結ぶ本路線を整備することで、広域的なネットワークが確立され、首都圏へのアクセスも多様化するなど地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化が図られる。	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
【開始の経緯】 ①産業振興の発展 ②通勤時間帯の渋滞緩和・利便性の向上		【課題】 用地買収が難航し、工事発注が困難	早期完了を望む要望が多数有

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)				単位	千円
1.委託費	0				
2.工事費	9,213	道路改良工事			
3.用地費	0				
4.補償費	0				
② 特定財源の内訳(29年度の決算)				単位	千円
1.国庫支出金	0				
2.都道府県支出金	0				
3.地方債	8,700	南堀之内道正線整備事業債			
4.その他	0				

事業費	費目内訳	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
事業費計(A)	1.委託費	千円	0	0	5,692	0	26,892
	2.工事費	千円	0	0	0	9,213	21,600
	3.用地費	千円	0	0	0	0	6,532
	4.補償費	千円	0	0	0	0	1,757
		千円					
財源	1.国庫支出金	千円	0	0	5,692	9,213	56,781
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円				8,700	53,900
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	0	0	5,692	513	2,881

前年度増減理由	平成28年度の用地交渉に伴い平成29年度に業務委託を実施したことによる減、道路改良工事実施による増のため
---------	--

従事職員数	常時	2人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 工事用道路盛土及び伐採工事 一式 用地交渉		ア 用地買収率(面積ベース)	%	86.0	86.0	86.0	86.0	100.0
			イ 整備延長	m	0	0	0	0	270

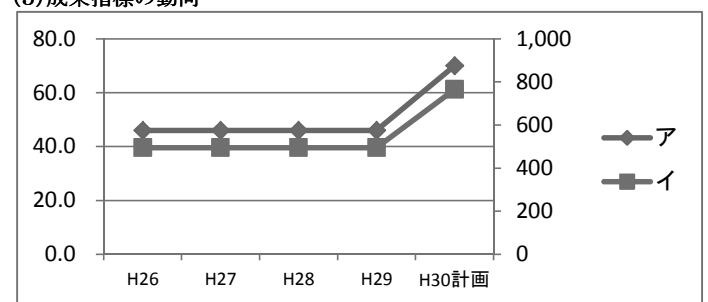
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 利用者(市民) 安全・安心かつ円滑な道路交通の確保が図れる		ア 工事進捗率	%	46.0	46.0	46.0	46.0	70.0
	対象意図 市道 安全性の向上		イ 道路整備済延長	m	495	495	495	495	765

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果				② コスト削減優先度評価結果			
		成果向上余地				コスト比率	
		かなりある	ある程度ある			下位 1/3	中位 1/3
施策貢献度	大きい			④			
	普通						
	小さい						

		①	②	③	④⑤	⑥	⑦⑧	⑨
評価結果	成果優先度				(4)			
	コスト削減優先度							

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☒ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	用地買収が難航しているため				
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)				数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	成果動向
						ア 0.0 26年度 0.0 27年度 0.0 28年度 0.0 29年度 24.0 30計画

今年度取組事項(30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性
	平成30年度	未取得用地の用地買収を行う。買収済用地の道路改良工事を進める。	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()

平成30年度	買収済用地の工事発注に着手する。
--------	------------------